

第 68 号

大阪市史跡
龍溪禅師墓所

靈亀山 九島院

発行所

〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号

Tel 06 (6583) 2725 FAX 06 (6583) 0908

発行者

第廿五代住職

奥 田 啓 知 (智證)

龍 灯

当院は、阪神なんば線で、なんばから7分です。

問い掛けられた幸せ

〜ブータンに学ぶ幸福とは〜

国民総幸福量（GNP）という考え方が注目を浴びています。昨年の晩秋、国賓として来日されたブータンのジグメ・ケサル・ナムゲル・ワンチュク国王（31）と十月に結婚したジェツン・ペマ王妃（21）は、大国の首脳が敬遠するなか、東日本大震災の被災地にいち早く訪れて鎮魂の祈りをささげ、各地の人々と交流されました。

「国家の精神的な遺産」として仏教を保護されているだけあり、僧侶を同行され、被災地の為に祈られていた姿はとてもありがたいものでした。

仏教が息づくヒマラヤの奥地、九州ほどの面積、人口約七十万人と小さな国ですが、「国民の心の豊かさ、幸せを求める」というユニークな方針を打ち出し「国民総幸福量（GNP）」という考え方に基づいて国の政治を進めています。

それは四十年前、先代ジグメ・シンゲ・ワンチュク国王が提唱された経済成長ばかりを重視する姿勢を見直し、伝統的な社会・文化

や民意、環境にも配慮した「国民の幸福」の実現をめざす考え方です。

さて、幸福とは欲望を充足させることだと、世間では思われています。年収一千万円がほしいという欲望があつて、五百万円の年収だと五割の幸福、八百万円だと八割、一千万円だと十割の幸福になるのでしょうか。いや、そうではありません。私たちの欲望はいつも無限にふくれあがるものです。

最初、一千万円の欲望を持っていた人が、いつのまにか二千万円ほしと思う。二千万円が三千万円に、それが人間の常なのです。いくら欲望を充足させても幸福は得られないのです。

仏教では、欲望を少なくし、足るを知る心を持て、そうすれば幸福になれると教えています。それを「少欲知足」と呼んでいます。ガツガツと貪るのは、餓鬼や畜生のすること、人間は人間らしく適当なところで満足せねばなりません。

ブータンの国政調査では、国民の45.1%が「とても幸福」、

51.6%が「幸福」と、回答しているのだそうです。

日本人は、金持ちは幸福で、貧乏は不幸だと考える人が多いように思えます。そして、なんとかして金持ちになろうと、歯を食いしばって頑張ってきました。その結果、中国には抜かれましたが世界3位の経済大国になったのです。

しかし、昔と比べたら、多くの日本人が少しはお金を持っていますが、ブータンのように国民の9割以上が「幸福」と答えるのでしょうか。

「立つて半畳、寝て一畳、天下取つても二合半」という警句を引き出すまでもなく、必要最小限が得られれば満足すべきなのです。



ブータン王国 ワンチュク国王夫妻

波濤の夢

(龍溪禪師一代記) その九

龍溪と隠元禪師⑤ 笠印との決別

江戸行化を請われた隠元は強く固辞したが、青木甲斐守重兼や龍溪に再三応請を勧められ、ついに応諾した。同年九月六日、幕府から道中の人夫や馬が与えられ、隠元一行が発した。龍溪と禿翁が随行した。

しかし、この件は共に隠元招請に力を尽くした笠印との確執をうみ、笠印は龍溪らと袂を分かつこととなる。

『黄檗外記』(無着道忠著)によるとその年は道忠が笠印から『祖忠』の法名を授かる年であるが、隠元の江戸行化を聞いた笠印は龍溪たちに、「古ノ名僧ハ國王大臣ヨリ召サルトモ出デザルナリ。然ルニ先方ヨリ相見シタシトモナキニ、ヒゲ唐人御目ニカケ度トイウガ如キ仕形、甚ダ宜シカラズ、隠元ノ徳ヲ損スベシ」と反対したが、龍溪らの聞き入れるところとならず、止むなく隠元らの一行に先んじて下向し、老中酒井讃岐守忠勝に対して、笠印が「隠元ハ拙僧ヨリ先輩ノ龍溪ガ取り持ツニ依リ、今後拙僧ハ隠元ニツイテハ一切カマイ申サズ」と述べた。忠勝の「ヤガテ隠元参府アリ、ソレマ

デ待テ其後ハトモカクモ」との引き止めにもがんとして承知せず帰洛した。その帰路笠印は、箱根の山で江戸へ下向する隠元たちの一行に出会ったが、互いに物も言わずに行き過ぎたという。これ以後笠印は隠元の問題から完全に手を引くこととなった。

同書には、それをさる八月十五日夜の普門寺での月見の夜の出来事が記されている。

その時、隠元が笠印に語って言うには「ワレは龍溪次第二ナルベシヤ」と龍溪に全面的信頼を寄せ一身をあずけるに隠元の本心を聞かされた笠印は、そこで、「笠印ノ心ニトテモ、ヤガテ退クベケレバト思フ」とあり、江戸行化以前既に、隠元から離れる気持ちを起こしていたようである。

もっとも、笠印は「度々龍溪ト儀カナワズ」ということで、龍溪との意見の食い違いがあり、「隠元も名利ノ僧ニテ龍溪ノカタニ傾ク」という。隠元は龍溪への依存を強くし、笠印離れをみせる。そのことが背景にあり、笠印は隠元から手を引いたと、『黄檗外記』において東叔はいうのである。

隠元一行は、九月十八日に逗留先の妙心寺末寺触頭寺の天沢寺(麟祥院)に入って江戸城登城を待っていたが、十月二十九日、幕府は龍溪と禿翁を召し出し、將軍との謁見の方法を協議した。

『徳川実記』には「明日唐僧隠元を召見せらるるによつて、富田普門寺龍溪をめしてその式を議せらる」と簡単に記されているが、『黄檗外記』には「龍溪未上禿翁座元兩人隠元ニ伴ナヒテ江戸へ下向 松平伊豆殿龍溪禿翁ヲ召テ申渡サル点 隠元御目見ノ節三拝ヲ致サルベシトアリ、禿翁云仏法ノ法式ニテ総ジテ國王大臣ヲモ僧ノ拝スルコトゴザナクソ口問此義コトワリ申上タクソロ伊豆殿云サテハ仏法ノサホウナリヤ然ラハ拝ヲ許スト云ウ 忠(無着道忠)曰、此義甚タ不審 御老中ノ評定ニテ究マリタルコトヲ伊豆殿容易ニ変ズベキニ非ス 予(道忠)雪関(道忠の法兄の雪関宗律)法兄ノ説ヲ聞クニ 此ノトキ老中ノ評ニ云明極楚俊禪師(二二六二一三三六)来朝ニ 後醍醐天皇ニ三拝ヲセシム日本ノ威ヲ顯ハストナリ 此度モ其例ニテ隠元ニ三拝ヲ致サスベシトナリ 時ニ龍溪禿翁メイワク致シイロイロ断ヲ申セドモ叶ワズ シカラハ隠元一拝ヲ仕リ 余ノ二拝ハ龍溪禿翁一拝ツツ 仕ルヨウニ仰付ラレ被下ベシトテ暫クソレニ究マル」と記されている。

同十一月一日、隠元は龍溪・禿翁

同伴で、江戸城西の丸大広間において四代將軍家綱に謁見する。時に家綱は將軍就任七年目の十八歳、隠元六十七歳であった。謁見は短時間に終わったが、謁見の状況について、『徳川実記』によると隠元は黄衣を着し、左手に坐具と数珠右手に扇子を持ち、寺社奉行の先導で將軍家綱に拝謁した。隠元が將軍に拝謁した時、龍溪は前住という僧階であつたため隠元に随侍して將軍の前に出たが、禿翁は前堂の位であつたため、拝謁は許されず、屏風の陰に控えていた。「隠元公方(將軍)ノ前ニテヘタリト坐ス サテ立テ ツカト御前ヘススマレケルヲ龍溪和尚廻去(ホジャンホイキ)ト云テ 隠元即退クト云ヘリ」と『黄檗外記』には記されている。隠元一行が江戸滞在中には、老中酒井忠勝が父忠利の三十三回忌法要を一年繰り上げ、隠元を招請して盛大に勤めている。一行は十一月二十八日天沢寺を出発し、帰路小田原の紹太寺などを訪問し、十二月十四日普門寺に帰着した。



紹太寺 山門

(つづく)

当院は、阪神なんば線で、なんばから7分です。



檀信徒の皆さまへ

『隠元禪師と黄檗文化の魅力展』
難波 高島屋にて開催

黄檗宗大本山 萬福寺開創350周年記念として『隠元禪師と黄檗文化の魅力展』が開催されます。滅多とない機会ですので、期間中にご覧いただければ幸いです。

また、期間中に黄檗宗独特の梵唄(声明)にのせて、当院住職が導師となり開山隠元禪師への追悼法要並びに東日本大震災被害者、台風十二号豪雨水害被害者の慰霊法要が行われます。

〈法要〉

1/19・1/26
(木) 午前10時30分
(期間中 二回のみ)

お知らせ

平成23年11月22日付で総代(責任役員)の木村仁志氏(大阪市)が体調不良の為、辞任されました。

長年物心両面において当院を支えて下さいました。厚く御礼申し上げます。

尚、『宗教法人九島院規則』第6条により同日付で中瀬古秀次郎氏(豊中市)が補任されました。



萬福寺開創350周年記念 『隠元禪師と 黄檗文化の魅力展』

2012年1/19(木)～30(月)
大阪高島屋7階グランド・ホール

入場料＝一般800円
数に限りがございますが、
ご招待券あります。

詳細は、お寺まで

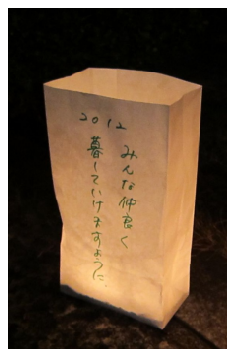


摩訶天立像
中国・清時代(萬福寺蔵)

行事報告

12/31
坐禅と除夜の鐘…参加者四十名

地域の恒例行事となってきたのか、年々参加者が増えて賑やかに新年を迎えることができました。また昨年は、『あかりのわ』と称して紙灯籠ならぬメッセージ入り紙袋灯籠で境内をライトアップしました。



行事予定

2/11
写経と精進料理の夕べ

主催…大阪市仏教青年会
四天王寺客殿を利用したの写経会です。参加費三千元。

3/23…山門会(春のお彼岸法要)

3/31…写経会 15時～参加費 千円
(別紙参照)

4/3…花まつり子ども大会 13時～
会場…クレオ大阪中央
(主催…大阪市仏教青年会)

4/8 花まつり甘茶接待(西区仏教会
九条駅前での花まつり甘茶の振
る舞いです。

4/15…お寺deヨガ 14時～
(別紙参照)

募 集

春のお彼岸法要時に、チャリティーパーザー、アコーディオンライブを行います。そこで、皆様へご協力をお願いします。

自宅に眠っている不要なモノを当院までお預け下さい。

ただし、食品、使用済みの衣類などは受付しません。
売上金は、全額東日本大震災復興支援金として寄付いたします。

永代供養墓 (大亀地藏尊)

☆ 申込受付中 ☆



墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

● 同感と共感 ●

世間を震撼させたオウム事件から17年、特別手配され逃亡していたオウム真理教元幹部、平田信容疑者が逮捕されました。逃亡生活を支えた元信者の斉藤明美容疑者も出頭し逮捕されました。

当初教団の指示で逃亡した二人ですが、長年の逃亡生活のなかで「尊敬が愛情に代わっていった」と彼女は自供しています。内縁関係ですが、長い潜伏生活のなかで二人の絆はより強まったようです。

東日本大震災以後、未婚女性の結婚願望が高まっているそうです。リクルートが昨年10月に発表したアンケート結果では、未婚女性の36%が「震災前より結婚したいという気持ちが高まった」、婚約中の女性の12%は、震災をきっかけに結婚を決めた」と答えています。「子供をつくって家族を守りたい」「夫婦や家族の絆の大切さを見直した」というのが主な理由だそうです。そういえば、昨年末に発表された去年の漢字も『絆』でした。

結婚しただけでは、結婚しているだけでは深まらないのが夫婦の絆です。人それぞれ価値観は本来違うものです。恋愛中は、自分にないものを持つ相手に魅かれたはずなのに、いつの間にか同じ価値観を相手に要求してしまいます。そのあげく、箸の上げ下げからトイレの使い方まで些細なことが我慢できず、破綻につながり離婚ということになるのです。

永遠に続く愛などありません。それが仏教の「無常」の教えであり、「空」の思想なのです。愛は冷めるものだから、常に愛を温める努力が必要なのです。夫婦は所詮『他人同士の共同生活』だと看破し、相手をありのまま受け容れること、相手がいかにこうであったらなどと条件をつけずに、ありのままに相手を受け容れる。価値観の違う夫婦が共感しあい、寛容にならないと夫婦の絆など生まれないように思っています。



編集後記

▼昨年末、母校茨木市立東中学校の還暦同窓会に出席しました。恩師の先生方もご出席頂きましたが、先生と見紛う同窓生もあり、いづれもいい歳の重ねかたをしていました。
▼卒業後四十五年、鬼籍に入った幾人かの報告もあり、開会に先立って黙祷をしました。
▼サンケイ新聞一面に「朝の詩」というコー

ナーがあります。昨年7月28日に「幸せな日」という、東京都江東区の主婦の詩が紹介されていました。

不幸は連れだつて来て 長居をしてゆく
幸せは一人で来ていつもそつと立ち去る
人生、いい日だったと
心から思える日は少ない
濃く残り忘れられない 忘れられない

▼人生には理不尽なことが多いもので、いい日だったと心から思える日は、本当に少ないものです。被災者の方々も同じ思いを抱かれています。被災者の方々も同じ思いを抱かれています。

▼諦めていた耳鳴りも、専門の耳鼻科で処方された漢方薬のおかげでましになってきました。が、今度は右手のシビレに困っています。頸椎ヘルニアなのか、整形外科で治療の毎日です。少しはよくなりつつありますが、不幸は連れだつて来るものなのです。

九条から阪神三宮駅・近鉄奈良駅まで一直線！

ご案内

さんもんえ
山門会 (春彼岸法要)

3月23日(金)

午後 1時半より

※ご先祖供養です。宗旨に関係ありません。

ご回向お申込み下さい。

清興・アコーディオンライブ
プロ奏者 かのとしこさん

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。